

共生・公正・創造



ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290
発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

【東労組の内部抗争、最近の動き！ シリーズ6】

組織の亀裂をさらに深めた東労組大会！

6月11日～13日、高崎市・群馬音楽センターで開かれた東労組第22回定期大会は、はじめから波乱含みの大会であった。

(2月中央委員会以降の東労組の動き)

本部役員集団辞任8人組のうちの5名(阿部・宮坂・本間・神田・百瀬)が除名されたことは既報のとおりであるが、その後の東労組OB会総会(4月27日)によると、『残りの3人(嶋田・関根・小林)も退職はしているが同罪であると制裁答申されている。3人はOB会会員の資格もない』と緑の風(5月17日号)で報じられている。つまり嶋田派8人組が全員排除されたわけである。また、この他にも千葉地本成田支部・野口委員長が組合員権停止5年となり、さらに長野地本峰田委員長以下4名に対する制裁審査委員会設置をした。これに対し8人組は連名で、『不当極まりない除名処分撤回！業務上横領容疑の真相究明』と抗議声明を出していた。一方本部も、会社との関係においては、石川委員長が清野新社長支持表明をした《緑の風4月15日号より》と思ったら、最近、会社が行っている定時運転確保旅客一斉情報に対しては『乗務員にプレッシャーを与えてどうするのか？福知山線事故が教訓化されていない！』と激しく会社を批判するなどチグハグである。また、松崎明氏も5月20日に大井町・きゅりあんで行った広域異動20周年記念集会で、『一部経営幹部は自分たちが優秀だからここまで来たと勘違いしている』と会社を牽制している。《緑の風6月1日号より》

今大会の制裁のターゲットは、長野地本！

さて、こうした中で開かれた東労組大会、大会直前の反本部派の要請書については既報のとおりであるが、その他の大会情報は、仄聞すると下記の内容のようである。

本大会のメインである長野地本に対する制裁は、

峰田委員長、関書記長は除名、

小池委員長代行、臼井長野支部委員長は組合員権停止5年、

岡村地本青年部長は組合員権停止3年が決定されたようだ。

反本部派の肅正は、一昨年から千葉地本、昨年の横浜地本と順次進められてきたが、今年2月の本部役員集団辞任8人組の肅正、そして今回の長野地本の肅正となった。根こそぎ肅正で、反対分子を排除しないと団結が保てない東労組に未来はない！

役員改正では、村上副委員長、堀口・一石・内田・冨塚・甲賀・林・高橋(正)・高橋(克)・千明・横山中執が退任、吉川・松田・山口・高津(東京地本)、柳(横浜地本)、菊地(八王子地本)、中山(高崎地本)中執が新任されたようだ。